

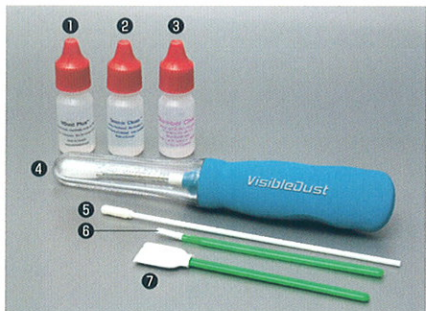


VisibleDust

VDセンサークリーニングキットPlus

1967年生まれ。東京写真専門学校を卒業後、広告写真プロダクションを経て独立。人物から商品、建築、舞台、自然など撮影は多岐にわたる。雑誌、Web等において記事の執筆も多数。人と自然のかかわりをテーマに作品制作を続ける。

第2回 ハイテククリーニングキットで撮像素子をクリーンアップ!



今回使用したアイテム

- ①VDustフォーミュラ ②センサークリーンリキッド
- ③チャンバークリーンリキッド ④アーケティックバタフライ 724
- ⑤チャンバースワブ ⑥グリーンセンサーコーナースワブ
- ⑦グリーンスワブ

撮像素子に付着した ウェットな汚れをスワブで除去

ホコリなどのドライ系汚れを除去するブラシと、油分や水分などのウェット系汚れを拭き取るキットで構成された「VDセンサークリーニングキットPlus」。今回は「アーケティックバタフライ 724」を使用して、ニコン D100の撮像素子のクリーニングを行った。静電気を利用したこのブラシは、撮像素子に付着していたほとんどのホコリを除去してくれたのだが、撮像素子にこびりついた汚れは残ったままだった。そこで今回は油分の汚れを除去するためのスワブとリキッドを使って清掃する。

これらスワブには撮像素子全体を拭う「グリーンスワブ」と、撮像素子の周縁部を拭うスティック状の「グリーンセンサーコーナースワブ」の2種類が用意されている。いずれも先端部はホコリが一切出ない特殊な繊維で作られたパッドで覆われており、そこにクリーニングリキッドを染み込ませ、撮像素子の汚れを拭き取るのだ。実際に試してみた結果、「アー

スワブを使用してのクリーニングの手順

1.チャンバークリーンリキッドを チャンバースワブにつける

カメラのミラーボックス内の壁などに付着している汚れやホコリなどを拭い取るためのチャンバークリーンリキッドを、チャンバースワブに数滴染み込ませる。クリーニング後はホコリなどを付着しにくくする保護膜としての効果もある



2.チャンバースワブで ミラーボックス内をキレイにする

チャンバークリーンリキッドを染み込ませたチャンバースワブでミラーボックス内の汚れやホコリを拭い取る。チャンバースワブの先端は目の粗い綿棒のようになっており、汚れやホコリをかきとるように掃除すると効果的だ



3.アーケティックバタフライで 撮像素子のゴミをとる

ブラシを回転させ帯電させたアーケティックバタフライで、撮像素子の表面を軽くなぞって付着したホコリを取り除く。前号で紹介したとおり、これでドライ系のホコリを除去することができる



4.VDustフォーミュラを グリーンスワブにつける

グリーンスワブの先端部にVDustフォーミュラを3滴ほど染み込ませる。このVDustフォーミュラは油分を含んだ汚れを拭き取るための薬剤だ。これで汚れが落ちなかった場合は、水性汚れ用のセンサークリーンリキッドを使用する。液のつけすぎには注意



5.グリーンスワブで 撮像素子を拭く

VDustフォーミュラを染み込ませたグリーンスワブで、撮像素子に付着した汚れを拭き取る。このときグリーンスワブの辺を撮像素子の幅に合わせ、一定方向に拭うようにして拭くことで、ムラを残さないようにする。一定の力で拭き上げるのがコツだ



6.グリーンセンサーコーナースワブで 撮像素子の周縁部を拭く

撮像素子の周縁部に拭きムラが残ってしまった場合は、VDustフォーミュラを染み込ませたグリーンセンサーコーナースワブで拭くとキレイに仕上げることができる。汚れやムラが残ったときは必要に応じて手順4～6を繰り返して行う



「アーケティックバタフライ 724」では取りきれなかった汚れをみごとに取り除くことができた。そのクリーニング効果は絶大といえるだろう。撮像素子全体をムラなく拭き上げるには若干のコツを要するが、慣れてしまえばさほどむずかしくはない。撮像素子の周縁部に拭き残しやムラができてしまった場合は「グリーンセンサーコーナースワブ」で拭き取ればよい。

またキットには、カメラのミラーボックス内に付着したホコリや汚れを除去するための

「チャンバースワブ&リキッド」も用意されている。これらも非常に効果的に汚れを除去してくれるので必要に応じて利用したい。

VDセンサークリーニングキット Plus

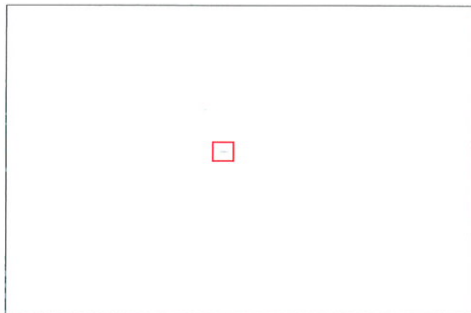
◎標準価格：43,470円 ◎実勢価格：30,000円前後

◎問い合わせ：ボゲンイメージング株式会社

<http://www.bogenimaging.jp/>

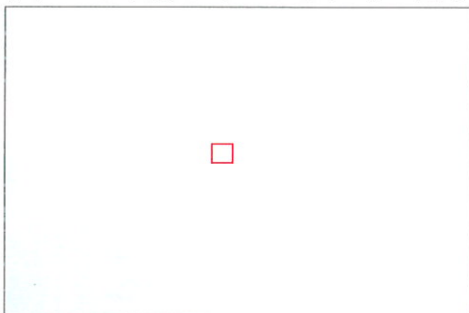
キット同梱のグリーンスワブはAPS-Cサイズ用。35mmフルサイズやAPS-Hサイズ用も別売で用意されている

クリーニング前のローパスフィルター上のゴミ



前回アーケティックバタフライで掃除したニコン D100の撮像素子だが、白い紙をF16まで絞り込み撮影すると、油分汚れと思われる黒い筋状の汚れが残っていた

クリーニング後のローパスフィルター上のゴミ



グリーンスワブにVDustフォーミュラをつけて撮像素子を清掃後、再び白い紙を撮影。目立っていた油分汚れだけでなく、細かいホコリもきれいに除去されている